

「道央広域連携地域政策展開方針(H25～H29)」 に係る地域重点プロジェクトの概要

地域のめざす姿

本道経済をリードし、多彩な地域資源を活用した個性ある地域づくりを展開する「道央広域連携地域」

「主な施策の展開方向」

- 本道経済をリードする産業の活性化
- 地域の特色を生かした多種多様な農林水産業の展開
- 環境と調和した低炭素・循環型社会の形成
- 多彩な地域資源を活用した観光の振興
- 地域固有の文化や歴史の継承・活用
- 安心して住みよいまちづくりの推進
- 交流を支える基盤整備の促進

新・地域重点プロジェクトの推進状況

プロジェクト名	道央地域産業集積プロジェクト		道央1												
推進エリア	空知、石狩、後志、胆振地域														
<p>【趣旨・目的】 道央中核地域（石狩、後志、胆振）と道央空知の両地域の一体化を図りながら、東北地域との連携を強化し、自動車関連産業を中心に加工組立型工業などの産業集積とともに、地場のものづくり企業の高度化による自動車関連産業との取引拡大や大学等の教育機関による人材の育成、道産食品の生産・製造の拡大に向けた食クラスター活動の推進、地域の資源・特性を生かした新エネルギー・IT など成長期待産業の集積などを図り、全道をリードする産業集積を促進。</p>															
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車関連企業や環境・エネルギー関連企業などの立地促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 次世代自動車基幹部品工場等の誘致推進 ○ 再生可能エネルギーによる発電事業など新エネルギー関連産業の誘致推進 ■ 東北地域の自動車関連産業等への参入促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地場企業の技術力の向上 ○ 地場企業の参入促進 ■ 大学・試験研究機関等との連携による新産業・新事業の創出と人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 北大R & B P構想など産学官金の連携推進による事業化の促進 ○ 道産食品の生産・製造の拡大に向けた食クラスター活動の推進 ○ 産業人材の育成・確保 ■ バックアップ拠点形成に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ バックアップ機能の強化に向けた取組の推進 ○ 物流拠点を生かした関連産業の集積 															
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業立地セミナー（北海道自動車産業ショールーム）の開催 ・ 道内に立地を検討している商社や大手ゼネコンをターゲットとした戦略的企業訪問の実施。 ・ 自動車メーカーOB等によるQCD対応力強化のためのアドバイスの実施 ・ 大学連携型インキュベーション施設の整備・運営 ・ 北海道産業振興条例に基づく助成を実施 ・ 道内に立地を検討している商社やゼネコン等の発電事業者に対する企業訪問の実施。 															
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定集積業種の企業立地件数</td> <td>(道央中核地域) 20件 (道央空知地域) 4件</td> <td>130件 (H25) 30件</td> </tr> <tr> <td>指定集積業種の製造品出荷額等の増加額</td> <td>(道央中核地域) - (道央空知地域) -</td> <td>2,900億円 (H25) 508億円</td> </tr> <tr> <td>指定集積業種の新規雇用創出件数</td> <td>(道央中核地域) 963人 (道央空知地域) 98人</td> <td>7,300人 (H25) 2,369人</td> </tr> </tbody> </table>				項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	指定集積業種の企業立地件数	(道央中核地域) 20件 (道央空知地域) 4件	130件 (H25) 30件	指定集積業種の製造品出荷額等の増加額	(道央中核地域) - (道央空知地域) -	2,900億円 (H25) 508億円	指定集積業種の新規雇用創出件数	(道央中核地域) 963人 (道央空知地域) 98人	7,300人 (H25) 2,369人
項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]													
指定集積業種の企業立地件数	(道央中核地域) 20件 (道央空知地域) 4件	130件 (H25) 30件													
指定集積業種の製造品出荷額等の増加額	(道央中核地域) - (道央空知地域) -	2,900億円 (H25) 508億円													
指定集積業種の新規雇用創出件数	(道央中核地域) 963人 (道央空知地域) 98人	7,300人 (H25) 2,369人													

プロジェクト名	そらち農業のブランドカ・生産力強化プロジェクト		道央2									
推進エリア	空知地域											
<p>【趣旨・目的】 空知の農業の更なる発展に向け、担い手の育成や農業基盤整備のほか、地域の生産技術課題への対応など生産体制の強化を図る。併せて、良質な農産物をベースにした加工品の付加価値向上及び販路拡大に向けた取組を進める。</p>												
<p>【施策展開の柱】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 空知産農産物等のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 空知産農産物等の優位性を生かしたブランド化の推進 ○ 販路拡大に向けた戦略的なプロモーション活動の推進 ○ ワイン産地・空知の形成に向けたマーケティングの展開 ■ 農業生産力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な担い手の育成・確保 ○ 農地・農業用施設の保全及び生産基盤整備の推進 ○ 地域の技術的課題に対応する取組の推進 ○ 鳥獣による農業被害防止対策の推進 ○ 環境と調和した農業の推進 												
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空知産農産物ブランド化推進会議の開催 ・ 空そば祭りの実施に対する支援 ・ ワイナリー経営に対する総合的な支援 ・ 空知産ワインの価値を伝えるセミナーの開催 ・ 担い手対策総合推進会議の開催 ・ 空知地域農業技術支援会議の取組 ・ YES!clean の取組集団の登録促進 												
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>物販や試食・試飲イベント等の開催回数</td> <td>3回</td> <td>5回</td> </tr> <tr> <td>ワイナリー・ヴィンヤード数</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	物販や試食・試飲イベント等の開催回数	3回	5回	ワイナリー・ヴィンヤード数	9	12
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
物販や試食・試飲イベント等の開催回数	3回	5回										
ワイナリー・ヴィンヤード数	9	12										

プロジェクト名	“そらちのファンづくり”食や体験の魅力発見・発信プロジェクト		道央3									
推進エリア	空知地域											
<p>【趣旨・目的】 食や体験に係る集客資源を磨き上げ、空知の魅力として積極的に情報発信する着地型観光の推進により、道内外に空知のファンをつくり、空知を訪れる人やリピーターを増やすための取組を進める。</p>												
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ こだわりの食と観光の結びつきの強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に根ざした食文化や歴史、こだわりの食などを生かした取組の推進 ○ 地元食材の利用拡大 ■ 体験を中心とした地域資源の活用 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源を活用したニューツーリズムの推進 ○ グリーンツーリズムの推進 ■ ローカルコーディネート機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ネットワークの拡大と強化 ○ 着地型観光の推進 												
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマートフォン用アプリを活用した食のPR ・ 空知、上川、留萌地域のワインや日本酒に合う食資源を活かした新商品やメニュー開発 ・ 北のめぐみ愛食レストランの普及推進 ・ 昨年度作成した「そらちdeサイクリング」掲載のモデルコースを活用したモニターツアーの開催 ・ 修学旅行受入体制の充実に向けた各地域協議会との連携強化 ・ そらち広域観光協議会連絡会議の開催 												
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数（延べ人数）</td> <td>11,651千人</td> <td>13,000千人</td> </tr> <tr> <td>北のめぐみ愛食レストラン認定数</td> <td>34店</td> <td>45店</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	観光入込客数（延べ人数）	11,651千人	13,000千人	北のめぐみ愛食レストラン認定数	34店	45店
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
観光入込客数（延べ人数）	11,651千人	13,000千人										
北のめぐみ愛食レストラン認定数	34店	45店										

プロジェクト名	自然環境にやさしい“エコそらち”推進プロジェクト	道央 4									
推進エリア	空知地域										
<p>【趣旨・目的】 地域の資源や特性を生かし、持続する再生可能エネルギーを推進するとともに、地域住民や企業等が取り組む環境配慮活動を通じた環境保全意識の醸成により、環境と調和した自然にやさしい「エコそらち」を構築。</p>											
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 持続する再生可能エネルギーの普及・導入 <ul style="list-style-type: none"> ○ 雪氷冷熱エネルギーの導入拡大 ○ バイオマス等の利活用の推進 ○ 新エネルギー等の開発・導入の促進 ■ 環境保全活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境保全意識の醸成 											
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空知地域省エネ・新エネ導入推進会議の開催 ・ 木質バイオマスボイラー設置予定施設に係る支援 ・ 農業水利施設を活用した小水力発電に関する情報収集・提供など、導入に向けた地域活動への支援 ・ エコパネル展の開催 											
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林バイオマス利用量</td> <td>16,600 t</td> <td>25,000 t</td> </tr> <tr> <td>雪利用施設の貯雪量</td> <td>21,705 t</td> <td>25,000 t</td> </tr> </tbody> </table>			項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	森林バイオマス利用量	16,600 t	25,000 t	雪利用施設の貯雪量	21,705 t	25,000 t
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]									
森林バイオマス利用量	16,600 t	25,000 t									
雪利用施設の貯雪量	21,705 t	25,000 t									

プロジェクト名	そらち「炭鉱（やま）の記憶」で地域づくり推進プロジェクト		道央 5									
推進エリア	空知地域											
<p>【趣旨・目的】 空知産炭地域全体を一つの公園と見立て、「選択と集中」、「ネットワーク」をキーワードに、「炭鉱（やま）の記憶」などの地域資源を活用した取組を展開するとともに、マネジメント機能を充実強化し、地域住民自らが進んで地域づくりに参画・活動する創造都市の形成を目指す。</p>												
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な主体の参画による「まち力・市民力」の向上 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の資源を再確認し、地域づくりに取り組む機運の醸成 ○ 多様な主体が地域づくりに参画するシステムの構築 ○ 「炭鉱の記憶」など地域資源を活用した活動の推進 ■ 地域の固有性を生かす創造都市の形成 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「炭鉱の記憶」を未来へ生かすための担い手、応援団づくり ○ 「炭鉱の記憶」などの地域資源を活用した学習、研究、交流活動の展開 ○ 産炭地域固有の資源を生かした広域景観づくり ○ 蓄積された産業技術や地域資源を生かした産業振興 ■ 地域マネジメント機能の確立 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域マネジメント機能の充実強化 ○ ネットワーク化と情報の受発信 												
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌やホームページなどを活用した啓発活動 ・ 炭鉱施設の保存、維持管理や地域の歴史を後世に語り継ぐ活動などを行う団体等の育成 ・ 地域住民や団体が企画・立案・実施するイベントなどに対する支援 ・ ガイドマニュアルの作成及びフットパスイベントの実施 ・ パネル展などのPR事業の実施 ・ 空知産炭地域総合発展基金を活用した新産業の創造など ・ 炭鉱の記憶マネジメントセンターと連携した炭鉱の歴史の周知や産炭地域への誘客を促す取り組み ・ 炭鉱の記憶マネジメントセンターや空知総合振興局のホームページなどを活用した産炭地域に関する情報の発信 												
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炭鉱の記憶マネジメントセンター利用者数</td> <td>4,378人</td> <td>5,500人</td> </tr> <tr> <td>産炭地域 5 市 1 町の交流人口</td> <td>3,216千人</td> <td>3,700千人</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	炭鉱の記憶マネジメントセンター利用者数	4,378人	5,500人	産炭地域 5 市 1 町の交流人口	3,216千人	3,700千人
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
炭鉱の記憶マネジメントセンター利用者数	4,378人	5,500人										
産炭地域 5 市 1 町の交流人口	3,216千人	3,700千人										

プロジェクト名	安全安心な暮らしを支える地域づくりプロジェクト		道央 6									
推進エリア	空知地域											
<p>【趣旨・目的】 地域住民が安心して暮らすことができる環境整備を進めるため、医療機関の役割分担と広域的な連携による医療提供体制の構築を図っていくとともに、病気の予防をはじめ、生活習慣の改善など住民自らが健康を保持・増進していくための取組を進める。</p>												
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 災害に強い地域づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災力の向上 ○ 関係機関の連携による防災体制の強化 ○ 防災対策のための基盤整備等の促進 ■ 安心な暮らしを支える地域医療体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ○ 医療連携の推進 ○ 健康づくりの推進 ○ 適切な救急医療の促進 												
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアで地域の防災活動に取り組む「北海道地域防災マスター」の養成 ・ 災害時の応急対策等に関する協定の締結 ・ 道で進めるバックアップ拠点構想を推進し、広大な敷地や多様なエネルギー資源を有する空知地域の優位性をPRし、市町等と連携して誘致活動を行う。 ・ 地域自治体病院等広域化・連携検討会議等において、医療提供体制構築に向けた連携推進及び地域医療の将来像について検討 ・ 関係機関との会議等の設置に向けた検討 ・ 救急医療専門部会等を通じ、コンビニ受診抑制に向けた具体的な推進方策について関係機関と検討・協議 												
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道地域防災マスターの認定者数</td> <td>86人</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>市町村健康増進計画の策定市町数</td> <td>18市町</td> <td>24市町</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	北海道地域防災マスターの認定者数	86人	120人	市町村健康増進計画の策定市町数	18市町	24市町
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
北海道地域防災マスターの認定者数	86人	120人										
市町村健康増進計画の策定市町数	18市町	24市町										

プロジェクト名	石狩アグリ！元気な地域づくりプロジェクト		道央7												
推進エリア	石狩地域														
<p>【趣旨・目的】 石狩管内は大学等研究機関が多数立地する研究環境を有しており、こうした優位性を生かし、消費者ニーズに応えた高品質で安全・安心な農畜産物の生産はもとより、6次産業化・農商工連携の推進による農畜産物の付加価値の向上を図るとともに、グリーン・ツーリズムなど都市と農村の交流を促進し、管内の農業・農村や地域経済の活性化を図る。</p>															
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産消協働の推進による農業の新たな展開 <ul style="list-style-type: none"> ○大消費地近郊の利点を生かした地産地消の一層の推進 ○地域資源を生かした6次産業化・農商工連携の推進 ■都市と農山漁村の交流促進 <ul style="list-style-type: none"> ○直売所や農業体験農場などに関する情報の発信 ○グリーン・ツーリズム推進体制の整備 ○都市と農村の交流の促進 ○農業体験受入農家の拡充 															
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費拡大イベントの実施（地場農産物等のPR販売、試食会等の実施） ・農商工連携セミナーの開催 ・石狩グリーンツーリズム推進連絡会議での情報交換・課題等の検討 ・教員を対象とした農業体験現地研修会の開催 															
<p>【【地域で考える“目標”】】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食品工業出荷額</td> <td>4,744億円</td> <td>5,900億円</td> </tr> <tr> <td>主な直売所の売上げ</td> <td>818百万円</td> <td>1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>ふれあいファーム登録農家数</td> <td>107</td> <td>124</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	食品工業出荷額	4,744億円	5,900億円	主な直売所の売上げ	818百万円	1,000百万円	ふれあいファーム登録農家数	107	124
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]													
食品工業出荷額	4,744億円	5,900億円													
主な直売所の売上げ	818百万円	1,000百万円													
ふれあいファーム登録農家数	107	124													

プロジェクト名	石狩地域コミュニティ再生プロジェクト	道央 8
推進エリア	石狩地域	

【趣旨・目的】

高齢者など誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進するため、地域におけるコミュニティ再生に向けた住民やNPO、企業など、多様な主体による連携体制を構築し、地域住民等との協働によるまちづくり活動を推進。また、高齢者の安全安心な暮らしを支える体制の整備や地域で子どもを育てる取組を市町村と協働して進める。

【施策展開の柱と主な取組】

- 地域住民等（住民やNPO、企業など）によるまちづくり活動の推進
 - 地域活動を担うリーダーの育成
 - 空き家の有効活用やコミュニティビジネス等による商店街活性化、世代間交流、定住促進など地域活性化策の検討、推進
- 高齢者が安全安心に生き生きと暮らすことのできる体制の整備
 - 高齢者の住まいの安心に向けた取組の推進
 - 高齢者の見守り体制の整備
 - 高齢者の生き甲斐づくり
- 地域を担う子どもを育てる体制づくりの推進
 - 子育てボランティアの育成など子育て環境の整備促進
 - 地域ぐるみで子どもを育てる体制づくり
 - 子どもの地域活動への参加の促進

【主な取組状況（H25～）】

- ・ まちづくりセミナーの開催（江別市、恵庭市）
- ・ 空き家バンクの活用や定住促進に向けたセミナー等の開催
- ・ 高齢者向け住まいのセミナー等の開催
- ・ 見守り体制連携連絡会議（H25.1月設置）の開催
- ・ 地域包括支援センター連絡会議の開催
- ・ 少子化対策パネル展等を活用したPR
- ・ 放課後子ども教室等の設置に対する助成の実施

【地域で考える“目標”】

項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
町内会のリーダー育成のためのセミナー・研修会の実施件数	-	68町内会のうち20%以上
高齢者の住まいに関する相談窓口の数	1	4

プロジェクト名	石狩観光スタイル深化プロジェクト		道央 9						
推進エリア	石狩地域								
<p>【趣旨・目的】 LCCの新千歳空港への本格参入により新たな観光需要が見込まれる中、管内の8市町村が、石狩エリアとして連携した観光振興への取組を実施し、「石狩観光スタイル」（都市と自然が共存する石狩ならではの観光スタイル）を深化させ、国内外からの誘客を促進するとともに、札幌市から周辺市町村への観光客の誘導を図る。</p>									
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「石狩食観光」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 石狩鍋など郷土料理や特産品等の食関連資源の発掘、PR ■ 石狩エリアの観光振興に向けた都市と自然が共存している石狩観光スタイルの確立 <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業や工場施設、「道民の森」等の施設を活用した体験型観光の推進 ○ 健康・癒しに着目した新たな観光開発 ○ 石狩エリアの魅力を浸透させるプロモーションの推進 ○ 地域が連携した広域観光や滞在型観光の推進 ■ 北の玄関にふさわしい安心・快適な受入環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 観光情報の発信機能の充実 ○ LCC就航を契機とした新たな観光商品開発と観光PR ○ 観光ホスピタリティの向上と誰にもやさしい観光地づくりの促進 ■ 東アジアなどからの観光客の誘致促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな観光メニューの創出及びPR ○ 外国人観光客に対する受入体制の整備 									
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石狩管内産の農林水産物を原材料とした管内のご当地メニューや加工食品（いしかり育ちの食）の現地取材を行い、80品目をフェイスブック、ブログで情報発信するとともにデータベースを作成し、石狩振興局ホームページに掲載 ・ さっぽろオータムフェスト2013に出展し、石狩管内の食をPR ・ 関空旅博2013に出展、石狩管内の観光プロモーションを実施 ・ さっぽろ広域観光圏推進協議会等と協同で「観光説明商談会・視察会」を開催、道内外のエージェント等を対象にハブ観光推進モニターツアーを実施 									
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光入込客数（延べ人数）</td> <td style="text-align: center;">2,189万人</td> <td style="text-align: center;">2,850万人</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	観光入込客数（延べ人数）	2,189万人	2,850万人
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
観光入込客数（延べ人数）	2,189万人	2,850万人							

プロジェクト名	スマート&クリーンタウンプロジェクト	道央10
---------	--------------------	------

推進エリア	石狩地域
-------	------

【趣旨・目的】
 東日本大震災以降のエネルギー政策をめぐる情勢変化などを踏まえ、省エネルギーの促進と新エネルギーの開発・導入に向けた取組の一層の促進を図るとともに、環境・エネルギー産業の育成・振興による地域経済の活性化を図る。
 また、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進、不法投棄の未然防止対策をより一層推進し、地域を構成する様々な主体の参画による環境への負荷が少ない地域づくりを推進。

- 【施策展開の柱と主な取組】**
- 地域特性を生かした新エネルギーの導入促進
 - 新エネルギー導入に向けた市町村及び関係団体等との情報共有等
 - 相談窓口の充実
 - 環境・エネルギー産業の立地や関連する地域ビジネス創出等への支援
 - 環境・エネルギー産業の立地等に向けた支援
 - スマートコミュニティのモデル地区などへの支援
 - 3Rの推進
 - リサイクル施設整備等の促進
 - 小型家電や紙類など資源ごみの回収促進
 - バイオマス利活用の推進
 - 普及啓発や各種支援事業による環境に配慮する人づくりの推進
 - 不法投棄等防止対策の推進
 - 不法投棄監視・防止啓発パトロールの実施
 - 不法投棄・不適正処理事案への指導体制の充実
 - 広報・啓発活動の充実

- 【主な取組状況（H25～）】**
- ・ 石狩地域省エネ・新エネ導入推進会議の開催(5月29日開催)
 - ・ 省エネ・新エネサポート相談窓口による相談対応
 - ・ 環境・エネルギー産業に関する情報収集と情報発信及び助言等
 - ・ 環境イベントにおける普及啓発
 - ・ BDF活用状況実態調査の実施とHP等による活用事例紹介
 - ・ 地球温暖化防止活動推進員の地域への派遣
 - ・ 石狩地域廃棄物不法処理対策戦略会議の開催
 - ・ 市町村広報誌への掲載などによる普及啓発活動の実施

【地域で考える“目標”】

項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
再生可能エネルギー発電施設の立地数	9	15
一般廃棄物のリサイクル率	22.8%	30%以上
そらち・いしかりクリーン・パートナー登録団体数	17団体	70団体

プロジェクト名	人と豊かな環境が共生する地域づくりプロジェクト		道央11						
推進エリア	石狩地域								
<p>【趣旨・目的】 豊かな自然環境を守り育てるとともに生物多様性の保全を図るため、道民との協働による森林づくりや森林等自然とのふれあいの推進、エゾシカなどの野生動物や外来種対策に取り組み、人と豊かな自然環境が共生する地域づくりを推進する。</p>									
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 道民との協働による森林づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村等との役割分担により、道民との協働による森林づくりを推進 ○ 多様な人材の活用と連携による水資源保全のための地域づくりの推進 ■ 身近な森林等自然とのふれあいの創出 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「道民の森」の活用等による森林・河川等のふれあいの機会を創出 ○ 水辺を生かした体験・環境観光の推進 ■ エゾシカなど野生動物・外来種対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 野生動物の保護管理のための取組みの推進 ○ 野生動物等による被害防止のための取組みの推進 									
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備を推進するために市町村森林整備計画実行管理推進チームを中心とした現地検討会等の開催 ・ 林業事業体の育成（労働安全研修等の開催） ・ 北の魚つきの森等での森づくり活動等を紹介 ・ 捕獲推進プランの目標達成に向けて、エゾシカ対策連絡協議会等を活用しながら、捕獲主体である市町村等に対して働きかけを実施 ・ エゾシカ対策連絡協議会の部会において囲いわなでの捕獲について検討、市街地に出没した場合の対応講習会の実施、交通事故マップの作成 									
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協働による森林づくりの推進</td> <td style="text-align: center;">278 ha</td> <td style="text-align: center;">1,250 ha</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	協働による森林づくりの推進	278 ha	1,250 ha
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
協働による森林づくりの推進	278 ha	1,250 ha							

プロジェクト名	いしかり地域防災力強化プロジェクト		道央12																
推進エリア	石狩地域																		
<p>【趣旨・目的】 札幌市を中心とした石狩管内の人口は、本道の人口の約4割が集中し、行政、経済の中心として機能しており、道央圏を中心とした大規模災害などにおいても、機能や役割が継続していけるよう、災害防止施設等の基盤整備を推進するとともに、災害時要援護者対策や自主防災組織の結成を促すなど地域防災力の強化を図る。</p>																			
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ハード・ソフト一体となった防災対策の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 災害に備えた社会資本整備の推進 ○ 土砂災害警戒区域等の指定の促進 ○ 災害時要援護者対策の推進 ○ 自主防災組織活性化に向けた取組の推進 ○ 関係機関との連携強化 ○ 札幌直下型地震を想定した防災体制の整備 																			
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 望月寒川をはじめとする道管理河川について、治水対策を推進 ・ 緊急輸送道路の整備（札幌夕張線、夕張岩見沢線、三笠栗山線、岩見沢月形線、旭川芦別線 ほか） ・ 北海道地域防災マスター認定研修会の実施・防災リーダー研修、出前講座(DIG、講話等)等自主防災組織育成事業の実施 ・ 備蓄検討会議を開催し、備蓄整備方針の検討及び策定、広域応援体制の検討・情報ネットワーク訓練の実施・関係機関との連絡会議の開催、連携の強化を図る ・ 備蓄検討会議において、札幌市及び周辺市町村の支援体制や連絡体制について検討 																			
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">避難支援プラン策定数</td> <td>・ 全体計画 6市町村</td> <td>・ 全体計画 8市町村</td> </tr> <tr> <td>・ 要援護者名簿 6市町村</td> <td>・ 要援護者名簿 8市町村</td> </tr> <tr> <td>・ 個別計画 4市町村</td> <td>・ 個別計画 8市町村</td> </tr> <tr> <td>自主防災組織率の向上</td> <td>62%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>北海道地域防災マスターの認定者数</td> <td>120名</td> <td>180名</td> </tr> </tbody> </table>				項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	避難支援プラン策定数	・ 全体計画 6市町村	・ 全体計画 8市町村	・ 要援護者名簿 6市町村	・ 要援護者名簿 8市町村	・ 個別計画 4市町村	・ 個別計画 8市町村	自主防災組織率の向上	62%	75%	北海道地域防災マスターの認定者数	120名	180名
項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]																	
避難支援プラン策定数	・ 全体計画 6市町村	・ 全体計画 8市町村																	
	・ 要援護者名簿 6市町村	・ 要援護者名簿 8市町村																	
	・ 個別計画 4市町村	・ 個別計画 8市町村																	
自主防災組織率の向上	62%	75%																	
北海道地域防災マスターの認定者数	120名	180名																	

プロジェクト名	活力ある“しりべし”農水産業振興プロジェクト		道央13												
推進エリア	後志地域														
<p>【趣旨・目的】 地域の特色を生かしながら環境と調和した、安全・良質な農作物を安定的に供給するため、後志地域の基幹産業である一次産業の充実・強化を目指す。</p>															
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 農業の持続的発展 <ul style="list-style-type: none"> ○ 高収益性作物の導入や農業生産基盤の整備などによる収益性の高い後志農業の確立 ○ 環境に調和した農業の確立 ○ 担い手の育成・確保 ■ 水産業の持続的発展 <ul style="list-style-type: none"> ○ 水域環境の保全や資源管理対策の強化、種苗放流などによる水産資源の維持・増大対策の推進 ○ トドなどの海獣による漁業被害の低減に向けた被害防止対策の推進 ○ 持続的発展を支える担い手の育成・確保 															
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 後志地区北海道米食率向上戦略会議において北海道米の消費拡大活動を実施 ・ 馬鈴しょシストセンチュウ抵抗性品種の普及促進 ・ Yes!clean登録品目の拡大と消費者への制度浸透を促進 ・ 経営管理能力の向上等に資する研修等の実施 ・ 後志南部地域におけるニシン種苗の試験放流を行い、効果調査事業を実施 ・ 後志総合振興局海獣被害対策連絡会議を設置し、被害対策等を検討 															
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリーン農業に取り組む生産集団数 (YES!clean)</td> <td>40 団体</td> <td>45 団体</td> </tr> <tr> <td>ニシン種苗放流に取り組む地区数</td> <td>5 地区</td> <td>6 地区</td> </tr> <tr> <td>トド被害未然防止のための強化網導入数</td> <td>161 ヶ統</td> <td>179 ヶ統</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	クリーン農業に取り組む生産集団数 (YES!clean)	40 団体	45 団体	ニシン種苗放流に取り組む地区数	5 地区	6 地区	トド被害未然防止のための強化網導入数	161 ヶ統	179 ヶ統
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]													
クリーン農業に取り組む生産集団数 (YES!clean)	40 団体	45 団体													
ニシン種苗放流に取り組む地区数	5 地区	6 地区													
トド被害未然防止のための強化網導入数	161 ヶ統	179 ヶ統													

プロジェクト名	“しりべし”一次産品を生かしたブランド化推進プロジェクト	道央14
推進エリア	後志地域	

【趣旨・目的】

札幌圏に近接する地理的条件と多彩な一次産品を生かし、安全・安心を基礎とした付加価値の高い加工品の開発や特産品の情報発信などを通じて、観光産業との連携をはじめとした後志のブランド化を推進。

【施策展開の柱と主な取組】

- 地域の特性を生かしたブランドの創造
 - 特産品の発掘・磨き上げ
 - クリーン農業の推進など安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上
 - 地域材の特性を生かしたブランド力の向上
- ブランド力を生かした販路拡大
 - 地元食材のレストラン等での活用促進など産消協働の推進
 - 官民協働による国内外でのプロモーションの展開
- 観光と連携した「食」ブランドの発信
 - 「食」のイベントの開催

【主な取組状況（H25～）】

- ・ 商品の磨き上げによるブランド力向上のため、百貨店バイヤー等の専門家を招聘した「アドバイス会」を実施
- ・ 販路拡大に向け管内企業間交流によるB to B取引につなげる交流会を実施
- ・ YES!clean制度の消費者へのPRを推進
- ・ 地域材の特性について普及・PRを図るため、森林認証制度及び認証材のパンフレット等を地域の木造公共施設の構造建築見学会等で配付
- ・ 道産品アンテナショップによる管内事業者の商品販売を実施
- ・ イベントに関係漁業協同組合が出席し、地場水産物のPRを実施

【地域で考える“目標”】

項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
クリーン農業に取り組む生産 集団数 (YES!clean)	40 団体	45 団体
「北のめぐみ愛食レストラン」 の認定数	47 店	57 店

プロジェクト名	“しりべし”国際観光リゾートエリア形成プロジェクト	道央15
推進エリア	後志地域	

【趣旨・目的】

後志の多彩な観光資源や食を生かした新しい旅行プランの開発などを通して、通年型・滞在型観光の推進に積極的に取り組んでいくとともに、北海道新幹線の開業により観光客の大幅な拡大が期待されるため、道南圏等との連携するなど、広域観光を推進していく。
観光案内板の外国語表示など利便性の向上を図っていくとともに、海外へのプロモーション活動をはじめとして後志観光の魅力を積極的に発信。

【施策展開の柱と主な取組】

- 新たな魅力の創出による後志観光の推進
 - 宿泊地（ハブ）と周辺の地域（サテライト）が連携し、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進
 - 観光ホスピタリティの向上
 - 広域観光の推進
- 外国人観光客の誘客促進と利便性の向上
 - 外国人観光客向けのホスピタリティ向上
 - 外国人観光客が訪れやすい環境整備
 - 官民協働による国内外でのプロモーション展開
- 「食」の魅力と豊かな景観を生かした観光地づくり
 - 農業・漁業体験など一次産業や食品加工業を始めとする二次産業と観光事業者との連携を図りながら「食」を生かした魅力ある観光地づくり
 - 自然・景観の保全と活用による質の高いリゾート地域の形成
 - シーニックバイウェイの推進

【主な取組状況（H25～）】

- ・ 「酒と肴」をテーマとした観光キャンペーンの展開のため、様々な業種や地域で構成する推進会議を運営し、イメージ定着のため、キャッチコピー等を選定するとともに、フェイスブック、ホームページ及び旅行雑誌を活用したPRやモニターツアー及び催事等でPRを実施
- ・ アウトドアなどの魅力発信のため、雑誌社を招へいしたPRの実施
- ・ 北海道新幹線開業に向け、渡島・檜山振興局との広域観光ルートの開発のため、モニターツアー等を実施
- ・ タイからの誘客促進と観光案内機能強化のため、タイ語による観光パンフレットを作成・配付
- ・ ムスリム観光客受入のため、受入対応セミナーを開催
- ・ インバウンドの旅行エージェントを招へいし、商品化促進のためのPRを実施
- ・ 景観形成の取り組みに向けた地元の意向把握、景観資源調査等の実施

【地域で考える“目標”】

項目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
観光客平均宿泊日数	1.33日	1.46日
外国人観光客宿泊者数	118,870人	272,000人

プロジェクト名	豊かな自然を生かした後志の「環境・景観・エネルギー」 づくりプロジェクト		道央16						
推進エリア	後志地域								
<p>【趣旨・目的】 近年景観阻害要因として顕在化してきた廃屋・空き家問題の解決に向けたルールづくりに取り組むほか、自然景観に対する住民の意識を高める様々な啓発活動を実施するなど、重要な観光資源である優れた自然環境と景観を保全することで、住環境及び観光の価値を高める取組を推進する。また、後志地域における再生可能エネルギー導入を促進し、人と自然の共生をエネルギー面から推進する。</p>									
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自然環境・生物多様性の保全 <ul style="list-style-type: none"> ○ 尻別川における環境に配慮した川づくり ○ 自然環境の保全に対する実践活動 ○ 生物多様性に配慮した野生生物の適正な保護管理 ■ 自然景観・都市景観の保全 <ul style="list-style-type: none"> ○ 景観法や北海道景観条例などに基づく良好な景観の形成・保全 ■ 再生可能エネルギーの導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ○ 再生可能エネルギーの地産地消に向けた地域の連携 									
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 尻別川クリーン作戦の実施 ・ 環境保全意識向上に向けた啓発活動・環境教育の実施、市民ボランティアなどによる河岸の清掃活動の実施 ・ 関係機関との連携によるエゾシカ等対策の検討、希少野生動植物の保護に向けた市町村等との協働による保護活動の推進 ・ 景観形成の取り組みに向けた地元の意向把握、景観資源調査等の実施 ・ 後志地域再生可能エネルギー資源活用可能性検討会議の開催 ・ 再生可能エネルギーの活用促進に向けた情報共有や意見交換の実施 									
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境保全のための植樹本数</td> <td>30,253本</td> <td>69,000本</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	環境保全のための植樹本数	30,253本	69,000本
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
環境保全のための植樹本数	30,253本	69,000本							

プロジェクト名	いぶり環境チャレンジプロジェクト	道央17
---------	------------------	------

推進エリア	胆振地域
-------	------

【趣旨・目的】
 サミット開催を契機とした環境重視型地域社会の形成促進を図るため、地球温暖化防止や環境保全に向けた地域運動を展開するとともに、地域の企業等の環境技術の発信やバイオマス資源の利活用の促進など、環境関連産業の育成などに取り組み、環境先進地に向けた地域づくりを進める。

- 【施策展開の柱と主な取組】**
- 地球温暖化防止に向けた地域運動の展開
 - 地球温暖化防止活動の推進
 - 「ほっかいどう企業の森林づくり」などを活用した植樹の推進
 - 環境・エネルギー関連産業の育成
 - 環境・エネルギー産業の集積促進と地域の企業等の環境技術の発信
 - 木質ペレットなど地域のバイオマス資源の利活用の促進
 - 新エネルギーの開発と利活用の促進
 - 企業の環境配慮活動の促進
 - 自然環境の保全・利活用
 - 環境保全、美化運動の促進
 - 環境教育の充実

- 【主な取組状況（H25～）】**
- ・ 「北海道地球温暖化防止対策条例」に基づく、CO2排出削減に向けた普及啓発事業の実施（「いぶりガイアナイト2013」の実施、市町やNPO法人、各団体等との協働による環境関連イベントの開催など）
 - ・ 「いぶり環境・エネルギー」リーディングプロジェクト事業の実施による、地域住民等への啓発
 - ・ 「北海道木質ペレット推進協議会」などの関係団体と連携し、木質ペレットの利用拡大へ向けたPR活動等を実施
 - ・ 新エネルギーの活用事例の普及による導入の促進

【地域で考える“目標”】

項 目	現状値 [H19]	目標値 [H29]
低公害車の普及率（室蘭運輸支局管内）	42.3%	60%

プロジェクト名	いぶり・ものづくり産業元気力向上プロジェクト		道央18						
推進エリア	胆振地域								
<p>【趣旨・目的】 産学官金や地域間の連携強化、進出企業と地場中小企業との交流・連携による技術力の向上を図るとともに、地域資源の活用や多様な産業間の連携による地域産業の創出を促進するほか、これらものづくり産業をはじめとする地域産業の持続的発展を支える人材育成に取り組むなど、本道経済をリードする厚みのある産業構造の構築を目指す。</p>									
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ものづくり産業拠点の形成促進 <ul style="list-style-type: none"> ○地域間連携や産学官連携の充実強化 ○地場中小企業の技術力向上や関連産業参入促進 ■地域産業の創出促進 <ul style="list-style-type: none"> ○支援体制の確立 ○地域資源の活用や多様な産業間の連携促進 ■ものづくりに関する人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ○ものづくり産業をはじめとする地域産業の持続的発展を支える人材の育成 ○次代を担うこども達の「ものづくり教育」の普及 									
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地企業に対するフォローアップなどによる地域への定着促進 ・胆振ものづくり産業振興連携会議の開催等を通じた地場中小企業の経営基盤の強化 ・地域資源を活用した取組に対する胆振地域農商工連携・6次産業化推進検討会による支援 ・地域の有望プロジェクトを推進できる人材を育成する「フード塾」の開催 ・企業の将来に向けた新規学卒者に対する企業説明会の開催などによる地域の産業を支える人材の育成・確保 									
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北海道中小企業総合支援センターの支援施策活用事業者件数</td> <td style="text-align: center;">2件</td> <td style="text-align: center;">15件 (H25～H29年累計)</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	北海道中小企業総合支援センターの支援施策活用事業者件数	2件	15件 (H25～H29年累計)
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
北海道中小企業総合支援センターの支援施策活用事業者件数	2件	15件 (H25～H29年累計)							

プロジェクト名	いぶり・食と観光のプロムナード・プロジェクト	道央19
---------	------------------------	------

推進エリア	胆振地域
-------	------

【趣旨・目的】
 自然景観や温泉といった既存の資源の活用はもとより、「食」や「体験」、「文化・歴史」などの観光客の新たなニーズに対応するため、観光客の目線に立って地域資源を磨き上げるとともに、農林水産業をはじめとする他産業と観光の連携や広域観光を推進しようとする団体との連携・協働を図りながら、地域の個性豊かな「食」のブランド力の強化や新商品の開発を促進するなど、「観光客に選ばれる観光地づくり」と「消費者に選ばれる食ブランドづくり」の相乗効果による魅力あるエリア形成を目指す。

- 【施策展開の柱と主な取組】**
- 魅力ある観光地づくりの推進
 - 観光客の多様なニーズにこたえる人づくり
 - 外国人観光客の受入体制の整備促進
 - 多彩な観光資源の発掘や地域との連携・協働
 - 効果的なプロモーション活動などの情報発信の実施
 - 食や体験、文化・歴史に着目した広域観光の開発と魅力発信
 - 食のブランド力の強化
 - 地域食材のブランド力強化
 - 地域食材の加工・消費・販売の促進
 - 都市と農山漁村の交流促進

- 【主な取組状況（H25～）】**
- ・ ジオパークを活用した観光地づくり支援プログラムに基づく支援の実施
 - ・ 北海道登別洞爺広域観光圏協議会と連携した外国人観光客の受入促進
 - ・ 3振興局（日高・胆振・十勝）連携による観光PR
 - ・ 首都圏でのイベントにおける胆振観光のPR活動の実施
 - ・ 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた取組支援
 - ・ 地域農畜産物の活用を推奨する道の各種制度の認証・登録を受けた商品・店舗のPR
 - ・ 胆振管内に本店を置く3信用金庫との包括連携協定を活用し、観光・物産PRを実施
 - ・ 「いぶりマルシェ」の実施による消費者と生産者の交流促進
 - ・ いぶり食のアンバサダーを活用した食のブランド化に向けた取組
 - ・ いぶりのおいしい魅力発信事業による一次産品、加工食品のPR

【地域で考える“目標”】

項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
食クラスター連携協議体へのプロジェクト提案件数	3件	20件(25～29年累計)

プロジェクト名	いぶり農林水産業元気力向上プロジェクト	道央20
推進エリア	胆振地域	

【趣旨・目的】

地域の農林水産業において、生産基盤の整備や担い手の育成・確保などを図ることにより、胆振地域の特色を生かした一次産業の持続的発展を目指す。

【施策展開の柱と主な取組】

- 持続的に発展する活気ある農業の振興
 - 環境と調和した安全で良質な農畜産物の生産
 - 地域農畜産物のブランド力強化
 - 農業生産の基本となる優良農地の確保・整備と効率的な利用
 - エゾシカ及びアライグマ対策の推進
- 森林・林業の再生と協働による森林づくりの推進
 - 森林整備の推進と持続的な森林経営
 - エゾシカ対策の推進
- 豊かな海に育まれた水産業の振興
 - 水産資源の適切な管理及び維持・増大と安定的な漁業経営
 - 地域水産物のブランド力強化
 - 安全な水産物の安定供給
 - 環境と調和した水産業の展開
- 担い手の確保
 - 担い手の育成・確保

【主な取組状況（H25～）】

- ・ 「いぶり・ひだか有機農業ネットワーク」を核とした研修会等の実施
- ・ 「マーケティング」、「食味」、「加工技術」をテーマとした事業者相談会の開催
- ・ 低コスト、高品質な農産物の安定生産に向けた基盤づくりの推進
- ・ 除雪林道を活用した効率的エゾシカ捕獲環境の整備及び効率的捕獲方法の確立
- ・ 「北海道木質ペレット推進協議会」などの関係団体と連携し、木質ペレットの利用拡大へ向けたPR活動等を実施
- ・ 胆振地域新産業創出連携支援組織を中心とした地域資源を活用した取組に対する支援の実施（事業者相談会、新産業創出セミナーの開催）
- ・ 水産物のブランド力を強化するための情報発信や付加価値の向上に向けた取組支援
- ・ 漁業系廃棄物の適正処理や有効活用のための取組推進
- ・ 小中学校の児童を対象に森林教室や林業体験学習を実施

【地域で考える“目標”】

項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]
地域農産物の活用を推奨する道の各種制度の登録・認証総件数	86件	15件
間伐の実施面積	1,400ha	8,300ha
地域水産物の安定供給と漁業経営安定化を図るための水産基盤整備数	-	魚 礁：4箇所 増殖場：3箇所

プロジェクト名	馬文化拠点地域形成プロジェクト		道央21						
推進エリア	日高地域								
<p>【趣旨・目的】 「馬」は観光資源であるとともに、文化的価値のほか、癒しの効果など多面的な機能を有していることから、「馬」を地域資源として捉え、様々な目的に活用し、地域に根ざした馬文化として定着させ、個性的で魅力のある地域づくりを進める。</p>									
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「馬」関連施設を活用した地域づくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 門別競馬場を活用した新たな地域づくり ○ 「馬」関連施設の活性化 ■ 馬文化を支える人づくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 馬文化に関する学習機会の充実 ○ 馬文化に関する情報発信 									
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日高馬ドライブ・乗馬マップを活用したPR（管内外の関係機関・観光関係施設等への配布） ・ 「ひだか特産市」の開催（門別競馬場で農水産物や加工品等を販売） ・ 各地域で行う馬の持つ多様な機能を生かした取組の現状把握と環境づくりの方向性の検討 ・ 馬文化出前教室の実施(管内小学校) 									
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗馬施設利用者数</td> <td style="text-align: center;">19,442人</td> <td style="text-align: center;">22,000人</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	乗馬施設利用者数	19,442人	22,000人
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]							
乗馬施設利用者数	19,442人	22,000人							

プロジェクト名	「日高」ブランドの構築プロジェクト		道央22									
推進エリア	日高地域											
<p>【趣旨・目的】 豊かで優れた地域資源を最大限に生かすため、農林水産物の積極的なPRや活用を推進し、地元消費の拡大、日高の「食」や「観光」に着目した取組を促進し、日高ならではの観光地づくりを進めるなど、「日高」ブランドの構築を図ることで、産業力の向上や地域の活性化に繋げる。</p>												
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 気候特性などを生かした日高のブランドづくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 「食」のブランドづくり ○ 「日高」の強い馬づくり ■ 自然や牧場風景など地域の特性を生かした観光のブランドづくり <ul style="list-style-type: none"> ○ 「食」の魅力を生かした観光地づくり ○ 地域の特性を生かした魅力ある観光地づくり ○ 他圏域との広域観光の推進 												
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元食材活用飲食店の「北のめぐみ愛食レストラン」認定推進 ・ 強い馬づくりと馬産地の活性化に向け、軽種馬経営の構造改革に向けた取組の支援（競走馬生産振興事業、馬産地再活性化緊急対策事業等） ・ 「日高スープエリア」の地元飲食店等における提供や普及、商品化に向けた検討等を実施（日高地域パエリア協議会） ・ 地域の観光情報の共有化と観光資源を活用した旅行商品の造成を促進するための研修会やセミナーを開催 ・ 共通する観光資源をテーマとした広域観光ルートの開発と情報の発信 												
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項 目</th> <th style="text-align: center;">現状値 [H23]</th> <th style="text-align: center;">目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域団体商標の取得数（団体）</td> <td style="text-align: center;">1団体</td> <td style="text-align: center;">3団体</td> </tr> <tr> <td>観光入込客数（延べ人数）</td> <td style="text-align: center;">1,621千人</td> <td style="text-align: center;">2,100千人</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	地域団体商標の取得数（団体）	1団体	3団体	観光入込客数（延べ人数）	1,621千人	2,100千人
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]										
地域団体商標の取得数（団体）	1団体	3団体										
観光入込客数（延べ人数）	1,621千人	2,100千人										

プロジェクト名	「日高の人・日高の暮らし」づくりプロジェクト		道央23												
推進エリア	日高地域														
<p>【趣旨・目的】 日高地域への定住を促進するため、これからの地域づくりの主役となる人材育成や、地域医療体制の確保、地域防災力向上の観点から安心・安全で快適な暮らしができる環境整備を促進するとともに、新千歳空港やとちか帯広空港に近いという日高地域の地理的有利性や、涼夏少雪という気候特性を生かすことができる、都市と田舎を行き来する二地域居住を提案・実践していくことで、交流人口の増加を図る。</p>															
<p>【施策展開の柱と主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「日高の人」づくり <ul style="list-style-type: none"> ○地域のリーダーづくり ○人材のネットワークづくり ■「日高の暮らし」づくり <ul style="list-style-type: none"> ○安心・安全な暮らしづくり ○快適に暮らせる地域づくり ■二地域居住を核としたライフスタイルづくり <ul style="list-style-type: none"> ○魅力的な二地域居住の発信 ○受入体制の整備 															
<p>【主な取組状況（H25～）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひだか食育シンポジウム」、「ひだか食育推進協議会 設立総会」の開催 ・日高振興局経済戦略懇話会の開催 ・日高保健医療福祉圏域連携推進会議の開催 ・地上波デジタル放送への円滑な移行のため、振興局・各町との情報交換・国への要請等 ・移住希望者向けパンフレットの配布、ホームページによる移住関連の情報提供 															
<p>【地域で考える“目標”】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状値 [H23]</th> <th>目標値 [H29]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体験移住「ちょっと暮らし」の滞在日数</td> <td>6,470日</td> <td>8,200日</td> </tr> <tr> <td>自主防災組織率</td> <td>36%</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>北海道地域防災マスターの認定者数</td> <td>11人</td> <td>18人</td> </tr> </tbody> </table>				項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]	体験移住「ちょっと暮らし」の滞在日数	6,470日	8,200日	自主防災組織率	36%	75%	北海道地域防災マスターの認定者数	11人	18人
項 目	現状値 [H23]	目標値 [H29]													
体験移住「ちょっと暮らし」の滞在日数	6,470日	8,200日													
自主防災組織率	36%	75%													
北海道地域防災マスターの認定者数	11人	18人													